

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立日新小学校
1 前年度 評価結果の概要	・保護者、児童、教師のアンケート結果は、ほとんどの項目が、上期より下期の結果がよくなっていた。教師間で、具体的な取組について共通理解・共通実践できたためである。これからも、学校の取組を発信していき、保護者・地域に理解・協力をしてもらい、保護者・地域・学校が連携し、児童の成長に向けたよりよい関わりを行っていく。 ・達成度Bの項目については、早急に改善策を具体化し、全職員共通理解のもと実践していく必要がある。 ・3部会での取組については、計画から実施で終わりではなく、反省を生かした次年度への計画の見直しまで行い、次年度の計画を「見える化」していく。一つ一つの取組に対し、全職員一丸となって前向きに取り組むことのできる日新小を目指す。
2 学校教育目標	ふるさとを愛し、心まことに行動する日新の子の育成 ～「あ・そ・べ・や」でみんな輝く 日新の子～ あ…あいさつ そ…そうじ べ…べんきょう や…やさしい心 みんな輝く…一人一人のよさが輝く

3 本年度の重点目標	1 安心して学べる環境を確保し、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。 2 教職員の意識改革と効率的な自己研鑽を推進し、指導力と人間性の向上を図る。 3 「知・徳・体」の調和の取れた生き抜く力を備えた子どもを育成する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・主体的な学習者の育成	○「進んで学習に取り組んでいるか」の質問に肯定的な回答をする児童の割合が80%以上。	・各学年の実態に合わせ、個に応じた指導・支援を行う。 ・自己選択・自己決定の場面設定、主体的な学習を促す。	・		・		・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・反射炉部		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「優しい気持ちで友達に接した」と答えた児童80%以上	・児童の実態に合わせて学年、全校さわやかタイムを計画・実施する。	・		・		・	・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・藤の花部		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する情報共有を行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。	・いじめの認知・覚知に対する情報共有を行うことで、学校全体の実態を共有することができた。今後は、学校として、いじめの未対応を0にするための研修や会議を開く。		・		・	・生徒指導主任 ・教育相談主任 ・藤の花部		
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ◎ふるさと「日新」に愛着をもち、大切にしたいと肯定的な回答をした児童80%以上	・児童の主体性を育む授業づくりに関する校内研修等の実施する。 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間等に体験的授業を取り入れたり、日新の町に関わる機会を作ったりする。	・		・		・	・教務主任 ・各教科主任 ・藤の花部		
	○安心感や信頼感を育む人間関係(仲間)づくり	○ほかほかカードを活用しながら、「お互いによいところがあると思う」と回答した児童80%以上	・道徳、学活等の時間を活用して、友達のよさを認めるカードを書いて、掲示する。	・		・		・	・人権・同和教育担当者 ・藤の花部		
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上 ○朝食をとって登校する児童が90%以上	・「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。年間3回程度、チェック習慣を設け、日々の生活習慣の振り返りをする。 ・毎月の食育タイムで、望ましい食習慣やマナーについて確認する。	・		・		・	・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部		
	○運動習慣の改善や定着化	○運動やスポーツを行う時間が1週間で200分以上の児童85%以上	・大縄大会などのスポーツイベントを実施する。 ・昼休みの外遊びを推奨する。	・		・		・	・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎日業務記録票に記入し、自分の時間外勤務時間を把握する。 ・業務改善会議を実施する。	・		・		・	・教頭		
	○学びやすい、働きやすい職場づくり	○学びやすい、働きやすい職場だと思っている職員が85%以上。	・業務内容の見直し・職場環境の改善等を行う。	・		・		・	・教頭		
●特別支援教育の充実	○一人一人の児童を大切にする指導・支援の充実	○学級の実態に応じて、意識した授業や教室環境のUD化に努めたと回答する教員が90%以上 ○支援を必要とする児童に効果的な支援を行ったと回答した教員が90%以上	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・全職員での情報共有を行う。	・		・		・	・藤の花 ・特別支援Co		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○地域連携	○地域の学校支援体制づくり	○「保護者や地域の方が、応援してくれていると思う」児童80%以上	・地域学校協働活動推進員を中心とした学校支援体制づくり(応援ボランティアの募集・実施)を行う。 ・保護者や地域の方の学校行事・授業等への参加・支援体制づくりを行う。	・		・		・	・教頭 ・教務主任 ・担任		
○幼保こ小中連携	○幼稚園や保育園、こども園、中学校と連携し、成長を見据えた教育活動	○「情報を共有し、児童の成長を見据えた教育を行った」教員80%以上	・幼稚園や保育園、こども園と連携(年3回の会議と、1回以上の園への見学)をする。 ・教師間の情報共有(職員研修を2回)をする。 ・中学校と連携する。	・		・		・	・教頭 ・教務主任 ・担任		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------